

ロータリーの基本である四大奉仕の48項目について、それぞれ色々なことに努力して頂きたい、奉仕活動をやって頂きたいということ。強調事項とは別に一般的な、基本的な部分でロータリー活動をやって頂きたいということでございます。

以上、4つの重点目標について話してきましたが、これらの重点目標を掲げて皆さんのご協力をお願いしたい。

そして、“Follow your rotary dream”のテーマの元に皆さんと一緒に私もロータリーの夢を追い続けたいと思いますし、できるだけ多くのことを実現していきたい。どうぞ宜しくお願い致しますと思っています。

以上で、簡単ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。

◎ 出席報告

会員数	64名	出席率	函館北	7月1日	83.61%
出席	42名		函館東	6月30日	84.78%
欠席	22名		函館	6月25日	88.35%
他クラブ出席	9名		函館五稜郭	6月26日	100.00%
出席合計	51名		函館亀田	6月29日	83.01%
除外者	3名				

・テレホンサービス（例会移動案内）電話23-2377番

次回・7月29日

「納涼ビールパーティ」（家族会）

プログラム

ハーバービューホテル 18時30分～



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

1998～99年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

新 博夫会長テーマ『明るく、楽しいロータリー』



7月15日ガバナー公式訪問 伊藤長英ガバナー

《第1690回例会》 第4号 7月22日（水）

本日のプログラム

「卓話」

日本銀行函館支店 支店長 大久保 裕晴 氏

★会長 新 博夫 ★幹事 小笠原 孝

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
 例会日：毎週水曜日 12:30-13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 TEL 23-3870

1998～1999 <第1689回例会> 第 3 号

7月15日の記録

◎司 会 新 博夫 会長 ◎齊 唱 我等の生業

◎ゲ ス ト 国際ロータリー第2510地区ガバナー 伊藤 長英 氏
地区幹事 古戸 寅雄 氏
第11分区代理 深見 秀治 氏◎ビジター 函館R.C. 地主 昇 君、函館五稜郭R.C. 奥山三雄君・小坂三男
君・松本満隆君、函館亀田R.C. 小島悦郎君

◎会長報告 新 博夫 会長

○本日は伊藤ガバナーの公式訪問です。9時30分より会長・幹事懇談会、
引き続きクラブアッセンブリーを行い、ご指導をいただきました。

◎幹事報告 小笠原 孝 幹事

- 既に案内されておりますが、7月29日の例会は時間を変更して行います
ので、多数のご出席をお願い致します。
- 友好クラブの和歌山城南R.C. 千葉港R.C. 台北市東北R.C. より週報が
届いていますので回覧致します。
- 新入会員の推薦がございました。異議の申し立ては7月21日迄に書面に
より幹事までお願い致します。
- R I 第 2 7 7 0 地区田中作次パストガバナーより、1998～'99年度の
ロータリー情報誌マイフレンド発刊のご案内が来ております。
今回で廃版になりますが、規程委員会の変わった内容が書かれていま
す。ご希望の会員は申込書に記入願います。1冊 1,000円です。
- 他クラブ例会変更のご案内 7月30日(木)上磯R.C. 夜間例会
- 記念写真撮影を致しますので、例会終了後移動願います。

◎委員会報告

●親睦活動委員会 金子 謹也 委員長

7月29日(木)18時30分からハーバービューホテルにおいて納涼ビールパー
ティー家族会を開催します。多数の参加をお願いします。
なお、出欠は送付済の往復ハガキでお早めをお願いします。

◎親睦活動委員会 吉田 隆 委員

ニコニコBOX投入報告

第2510地区ガバナー 伊藤 長英 氏……BOXに協力。

地区幹事 古戸 寅雄 氏…… "

第11分区代理 深見 秀治 氏…… "

新 会長・小笠原幹事……ガバナーをお迎えして。

中野会員・薮下会員・松見会員・中川会員・増田会員・椎谷会員・金子
会員・小池会員・大和会員……ガバナー公式訪問に敬意を表して。
森(秀)会員・山崎会員・松橋会員……ガバナーを歓迎して。

◎分区代理挨拶 深見 秀治 氏 (江差R.C.)

前回の表敬訪問欠席のため、本治挨拶をいただきました。

◎新 会長より伊藤長英ガバナーの紹介

1952年 北大医学部卒業 1967年 王子総合病院内科科長に就任
その後、副院長、医院長、理事長、理事長・名誉医院長を歴任
今年5月現在 名誉医院長となっている。

ロータリー歴は、1984年苫小牧北R.C. 入会、1992年7月クラブ会長に就
任、ポール・ハリス・フェロー、米山功労者、ベネファクター等々を
持っている。趣味は、囲碁・ゴルフ

◎伊藤長英ガバナー講話

○詳しい自己紹介について

生まれは昭和2年10月26日、札幌生まれ。父の仕事の関係で小・中学校は東京に居住。

子供の頃の夢が連合艦隊司令長官で、昭和18年には江田島の海軍兵学校に入学。以前、北R.C.の会員であった中里重則さんとは、中学校、江田島で同級生。

戦争中、母が父の死もあり里である北海道伊達に疎開しており、戦後江田島から伊達に帰還。

以後、ずっと北海道に居り、北大では椎谷先生と同級生。

昭和28年、医師免許取得後王子病院に就職。かれこれ45年間王子病院一筋。

去年、5月に新しい病院への移転。大きな仕事が終わったことと、ガバナーをやる上で、病院を留守にすることが多いこともあり、理事長を退任、現在は名誉医院長、併設型の老人保健施設ケアライフ王子の施設長を兼任。

○ガバナー就任について

クラブ暦は1984年入会、去年3月にノミネーに指名される。

1981年～82年のガバナーを務められた前任の理事長であり、医院長でもあった佐久間先生の時には病院で留守番をしていたのですが、ガバナーの指名があったときは、何か運命的なものを感じお引き受けしました。佐久間先生は昭和63年に亡くなりましたので、ガバナーの事を教えて頂くことはなく、会長をやった時（この地区は北村年度）に少し勉強をしましたが、本格的には今年の3月にアナハイムで行われた国際協議会に出席し、徹底的に教育を受けました。

○アナハイム国際協議会について

協議会は8日間。ホテルに缶詰めで研修に参加。研修の内容は、本会議10回、グループ・セッション21回。本会議は英語で同時通訳付き、グループ・セッションは日本人研修リーダー3名で実施。中国語のグループがないので台湾の方3名も日本語グループに参加。研修は日本の34地

区・34名と台湾の方3名の37名を2組に分け実施。厳しい教育で学生気分を味わう。

その中で、レイシーさんが言われたR Iのテーマは、“Follow your rotary dream” 「ロータリーの夢を追い続けよう」という素晴らしい言葉で、旗が示すように黄色いところがロータリーの道、ロータリーの道を進んでいくと、その先には夢である虹がかかっている。その夢を実現しようということを表した図です。レイシーさんは1時間ほどの講演の中で「ドリーム」という言葉を60回ほど使いました。その次に多かったのが「ケア」という言葉でした。これは、「思いやり」ということ。

ロータリーは、「思いやりの心を持って夢を追い続けよう、そしてただ追うだけでなくそれを実現するように努力しよう」と強調されました。

○地区の重点目標について

皆さんのクラブ活動計画書の1ページに載っています。

その重点目標は第1に「新世代に関するプログラムの積極的推進」、第2に「会員増強、退会防止、クラブ拡大への積極的努力」、第3に「ロータリー財団米山記念奨学会への積極的支援」、第4に「会長使用プログラムへの積極的参加」の4つを掲げました。

● 新世代に関するプログラムの積極的推進について

世界的視野で、貧しい人々特に、貧しい子供たちに救済の手を差し伸べようということ。日本やアメリカではあまり感じられない貧困をテーマに、世界に目を向けていこうということ。ここで、あえて新世代という言葉を使うのは、青少年という言葉には含まれない、生まれて間も無い幼児も含めて考えようということ。野口年度から青少年という言葉に代えて全て新世代という言葉で統一されました。

若い人達・幼児達のポリオプラスがずっと続いてますが、以前日本でポリオプラスを取り上げたときには、全く別個に取り上げられていたけれど、現在では普通のプログラムの中で取り上げています。世界では、まだ貧しい地区を中心にポリオプラスが残っており、幼児に対する予防接種が続いています。そして、それを絶滅しようとロータリーが努力しています。

- **会員増強、退会防止、クラブ拡大への積極的努力について**
一番基本的なことで、永遠のテーマといわれています。

野口年度の初めと終わりを比較して、世界中では会員数は約8千人増えていますが、新しいクラブの拡大により増えた2万名を考慮すると、既存クラブにおいては1万2千名の減少ということ。日本では7月1日の数字がないので、西条年度の1996年4月末と、石垣年度の4月末の2年間でどうなったかを比較すると、全国的には130,647名から131,674名と1,027名の増加ですが、ロータリー・クラブがその間に60クラブ増えたことを考慮すれば、既存のクラブでは減少ということです。

会員増強がなぜか必要になるのかということについて、まず最初にロータリーで一番重要なことは何かを考えてみたい。あるRIの元副会長がロータリーの精神、プログラム、そして国際性、3つとも重要であると答えているが、それら3つは会員に依存している。つまり、ロータリーで一番大切なものは会員だということ。会員がいなければ何もすることはできない。会員が存在することによってロータリー自体、そしてロータリーの活動全てが可能になる。ロータリーの基本は会員であると言われているのです。

そこで、今経済的にも不況だし、このような社会情勢の中で会員の増強は難しいという声があるが、それはもっともなこと。しかし、ロータリーが作られた1905年、ポール・ハリスがロータリーを作った時の状況は、経済不況で人々の心はすさんでいた状況でした。そういった状況だったからこそロータリーが必要とされ、思いやりを持った奉仕活動が必要とされたということが、逆に言えるのではないのでしょうか。

不況だから増強できないというのではなく、是非努力をし、皆さんにもご協力をいただきたい。現実の問題として、会員の増強をお願いする上で、女性会員の問題について触れておきたい。

アナハイムに行ったとき、世界では地区が521ありました。当然、ガバナーノミニも521人いるわけですが、その中に女性会員が20人いました。ロータリーに女性が入るようになったのは9～10年前で、既に20名のガバナーが誕生しているのは、それだけ、女性の活力が強いというこ

とです。先週、函館東ロータリークラブにお邪魔した時も、女性会員が6名いたが、クラブ協議会では活発に発言していました。

私共のクラブには女性会員がいませんので、この状況を羨ましく思ったのですが、どこのクラブでも、適当な方がいらっしゃったら是非女性会員を入会させて、クラブの活性化を図って頂きたい。今は、女性会員を入れるか入れないかの議論をすることは無意味なことと思われるので、入れることを前提に協力して頂きたい。

第1ゾーンには色々なゾーンコーディネーターの方がいますが、会員増強に関するゾーンコーディネーターは秋田県本庄クラブの作佐部さんという方ですが、この方から各地区で会員増強のセミナーを開いて欲しいという要請がありました。

このセミナーを9月12日に開くことにしていますので、出席して頂く方はクラブ会長、またはクラブ奉仕委員長、会員増強委員長に出席して頂きたいと思います。

- **ロータリー財団米山記念奨学会への積極的支援について**

これも毎年のことでその都度お願いしていますが、一つご理解をいただき目標だけは達成していただきたい。

寄付については、積立方式をやっているクラブも幾つかあり、結構実績を上げているので参考にしたい。免税の問題ですが、米山は元々免税の対象になりますが、ロータリー財団の場合一度に30万以上の寄付の時は免税措置が取られます。この30万円という額を下げることにについては別として、今のところはポール・ハリスとヴェネファクターを組み合わせるなど、組み合わせに関係なく30万円以上であれば免税措置が取られるということですので、知っておいて利用していただきたい。

また、シェルターの件について1つお願いがあります。この前の地区協議会の時に竹山理事の方から要請がありまして、できれば1クラブ1つのシェルター位というお話がありました。クラブの方からの要請もあり、適当な人数になるように組み合わせをするように分区代理のかたにお願いしてありますので、宜しく願いいたします。

- **会長使用プログラムへの積極的な参加について**